

全国酪農青年女性会議主催

「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」



TOPICS

- ・ 第53回全国酪農青年女性酪農発表大会 開催 ②
- ・ 第57回福島県酪農協職員業績発表大会 開催 ④

全国酪農青年女性会議主催

「第五十二回全国酪農青年女性酪農発表大会」が、

沖縄県那覇市で開催!!



第52回らくのうこどもギャラリー

特選 山谷めいさん

七月九日(木)～十日(金)に

沖縄県那覇市「ロワジュールホテル那覇」において、「第五十二回全国酪農青年女性酪農発表大会」が開催され、全国から約三五〇名の酪友が参加しました。

今回の発表大会では、各地域で予選となる発表大会が開かれ、地域の代表として全国大会へ出場を決めた酪農経営発表五名、酪農意見体験発表六名が発表しました。

審査結果については、酪農経営発表の部において、最優秀に西日本酪農青年女性会議の長恒泰裕さん、審査委員長特別賞に北海道酪農青年女性会議の牧野陽太さん、酪農意見・体験発表の部において、最優秀に関東甲信越酪農青年女性会議の荒井芳幸さんが受賞しまし

た。

初の沖縄開催でしたが、台風九号の影響により、帰りの欠航が相次ぎ、全国各地から参加した会員全員が本土に戻れない事態となりましたが、逆思い出に残る大会にしよう!!と皆前向きで、明るく楽しい雰囲気の中、大会の幕を閉じました。

来年の全国酪農青年女性酪農発表大会は、令和九年七月十五日(木)～十六日(金)に「ホテルハマツ」にて開催予定です。地元開催なので、皆さんのご参加をお待ちしております!!

なお、上部の写真は酪青女主催の「第五十二回らくのうこどもギャラリー」で、



大会後の懇親会も琉球民謡で大いに盛り上がりました!!

酪青女全国会議 令和8年度通常総会にて役員改選 県中地区の斎藤忠義さんが酪青女新委員長に!!

第66回 農林水産祭参加表彰行事
第53回 全国酪農青年女性酪農発表大会



「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」新旧委員紹介での代表あいさつ

第66回 農林水産祭参加表彰行事
53回 全国酪農青年女性酪農発表大会



ファーストレディー（奥様）と一緒に

令和8年7月8日(水)に開催された全国酪農青年女性会議の令和8年度通常総会にて、任期満了に伴う役員改選が行われ、新委員長に東北酪農青年女性会議委員長の斎藤忠義さんが就任されました。9日(木)～10日(金)に開催された「第53回全国酪農青年女性酪農発表大会」において新旧委員の紹介があり、代表してあいさつされた斎藤新委員長は、「酪農発表大会や理解醸成活動をはじめ、酪青女の事業は大変意義のある活動だと思っている。時間がない中でも、方々に出向き、色々な方と交流を図り、技術や知識を獲得しながら経験を積むことは、酪農経営と暮らしを豊かにしていく重要な活動だと認識している。」と述べ、酪青女活動に関する意義を強調されておりました。この度の全国酪農青年女性会議 新委員長就任おめでとうございます!!

東北地区登録委員研修会 開催

7月27日(月)～28日(火)に福島市「杉妻会館」において、日本ホルスタイン登録協会主催の「東北地区登録委員研修会」が開催されました。こちらは東北6県で持ち回りの開催となりますが、コロナ禍で中止もあり福島県での開催は8年ぶりの開催となりました。

今回は東北各地より日本ホルスタイン登録協会の中六角保広会長をはじめ、40名での参加がありました。研修会では福島県乳牛改良推進協議会 岩谷金良会長と県畜産課 吉田課長よりご挨拶を頂きました。

1日目の研修会では日本ホルスタイン登録協会の調査課 稲沢係長による「乳用牛ゲノミック選抜の推進強化研究事業について」の講演と事務研修が行われました。

夜には懇親会が行われ、紺野組合長より福島県へ歓迎のご挨拶を頂きました。日本ホルスタイン登録協会の役員の方々をはじめ、東北各地の様々な関係団体の方々にお集まりいただき、情報交換の場となりました。

2日目は登録課 山下主任による審査研修が座学にて行われ、無事に幕を閉じました。



第57回福島県酪農協職員業績発表大会を開催



第57回福島県酪農協職員業績発表大会を7月7日(火)福島県酪農業協同組合会議室で開催しました。

業績発表大会は、本組合職員の技術研鑽並びに情報交流を図るため、日常業務について発表し、組合員の負託に応えるとともに、酪農振興に寄与することを目的に行われております。

2部制にて発表が行われ、第1部獣医診断治療等獣医技術に関することに6名、第2部酪農家の生活向上・経営向上等に関することに2名の合計10名が発表しました。

第1部の審査員には、福島県農業総合センター畜産研究所酪農科長 新妻恭 最優秀賞 平尾さん 子氏、日本全薬工業株式会社 キャトル営業部 テクニカルマネージャー 後藤篤志氏をお招きし、第2部の審査員には、本組合から紺野宏組合長、岩谷宏常務理事、野口泰幸生産部長に審査をいただきました。審査の結果「簡易経営分析シートの作成について」を発表された、平尾さんが最優秀賞に選ばれました。

1部で発表した指導診療所浜事務所 吉田満雄さん、同県南事務所 梶友香さんの2名が審査員より推薦され、7月22日(水)に開催される第64回福島県獣医畜産技術総合研究発表大会に出場が決定しました。

第57回職員業績発表大会発表者

部	褒賞	所属	発表者	テーマ
第一部	最優秀賞	生産指導課	平尾 修	簡易経営分析シートの作成について
	優秀賞	指導診療所 県南事務所	梶 友香	肛門形成術を実施した鎖肛の一症例
	優秀賞	指導診療所 浜事務所	吉田 満推	前頭骨欠損を伴う先天性髄膜脳瘤の1例
	優良賞	指導診療所	古姓 保	オルベシールを使用した選択的乾乳気治療の効果について
	優良賞	指導診療所	上岡 佑輔	診療所で実施した乳汁検査の傾向と対策
	優良賞	指導診療所	久保 葵	繁殖検定利用農家における受精卵移植及び 性選別精液利用拡大の事例検討
第二部	優秀賞	生産指導課	根本美和子	令和7年度の経営状況と農家の現状
	優良賞	生産指導課	坂本あゆみ	AIサービスを活用しての農家の試み

福島県乳牛改良推進協議会主催

牛群検定に関する研修会を開催

令和8年7月10日(金)熱海多目的交流施設 ほっとあたま 第1会議室において、「暑熱期における飼養・栄養管理の見直しと生産性向上のポイント」と題し、全国酪農業協同組合購買生産指導部 酪農生産指導室 室長代理 室田 哲明 氏よりご講演いただきました。当日は、関係団体職員や生産者合わせて24名が出席しました。



近年の酷暑により、暑熱対策について勉強したいという要望を多数いただき今回のテーマで研修会を開催いたしました。

暑熱時の飼養・栄養管理の見直しについて4つのポイント（①水分補給、②とにかく牛を冷やす、③暑熱時の給餌管理の工夫、④栄養管理の工夫）に分けて説明がありました。

特に、暑熱時の給餌管理の工夫としまして、牛が一口でも多く食べられる給餌方法・飼槽管理を意識するという事で、夏場は給餌飼料の変敗も早いので1日1回は残飼をきれいに掃除すること、給餌回数を増やす、エサ押しの回数を増やす、可能なら気温の下がる夜間に給与量を増やすこと、粗飼料は裁断して（3～5cm）給与することが効果的とのことでした。

おまけとして、牛舎のエアコン設置の事例のお話があり、皆さんが興味を持たれていました。

最後に、県畜産課より暑熱対策に関する補助事業の説明もあり、意見交換や直接質問することもできました。

今回の研修会を通して、質疑応答でもたくさんの質問があり、暑熱対策への関心の高さを感じました。毎年猛暑となっておりますが、1頭でも牛が元気に夏を乗り切れるように今回の情報を活かしていただければと思います



講師 全国酪農業協同組合 室田哲明氏

福島県酪農青年研究連盟主催

第1回酪青連酪農後継者支援研修会開催



8月4日(火)郡山市日和田町「農業総合センター 多目的ホール」にて、福島県酪農青年研究連盟主催（会長・橋本幸太郎）第1回酪青連酪農後継者支援研修会を開催しました。本研修会は、福島県による生乳生産効率化支援事業を利用した研修会であり、当日は酪青連会員、各関連団体より34名の方々が参加しました。

今回の研修会は、「国内農業の持続に向けた将来の展望」と題して、酪農学園大学 農食環境学群 教授 日向 貴久 氏に講師としてお越しいただきました。

日向教授は、①農業経営管理技術の向上に関する研究、②持続性に配慮した農業システムの成立条件に関する研究を専門分野とされています。

午前の部では、北海道管内における酪農家の収支構造の分析結果をもとに、差が生じている箇所から効果的な改善案について説明がありました。

また、午後の部では社会・自然環境の持続に関して、世界の生乳生産コストの現状や飼料生産現場の事例を紹介するとともに、環境問題への世界的な動向を踏まえて、見える化を意識して経営管理を進めていくことが重要になってくると話されました。

参加された方からは、数値化したデータの比較分析についての関心があり、経営改善や自給飼料の効率化のために役立てたいといった意見や、海外の先進的な事例が知れてよかったとの声を頂きました。

今年度の酪青連酪農後継者支援研修会は、全2回を予定しています。次回も多くの方々のご参加をお待ちしております。



全酪連の小窓 8月号



根城さん

この度、8月をもって異動することとなりましたので、ご挨拶申し上げます。2021年の2月に福島担当となってから今日までの5年半、無事に業務を行うことができました。また、これまで全酪の小窓を読んでいたいただきありがとうございました。

最初、福島駐在が決まった際は、訪れた経験もほとんどなく知り合いもいなかったため不安もありましたが、「せっかく来たからにはいろいろと楽しもう」という気持ちで臨んだことを覚えています。

知識や経験もない中、まずは農家さんの顔を覚え、福島の道を覚え、方言に慣れていくことから始まり、当時は大変なことも多くありました。しかし、県酪職員の皆様をはじめ、農家さん方が温かく迎え入れてくださったおかげで、少しずつできることが増え、会話の幅も広がり、仕事のやりがいや充実感を深く感じられるようになりました。

今回の異動は名残惜しさが尽きませんが、自分自身がステップアップする良い機会だと前向きに捉えています。異動先の名古屋支所では岐阜県を担当いたします。岐阜県の酪農家は60戸ほどと、福島に比べて少ない戸数ではありますが、福島で学んだ知識と経験を活かし、少しでも農家さんの力になれるように尽力していきます。

すでに40℃を超える厳しい暑さの地域へ向かうことに恐れおののいています。体調管理にも十分気を付けたいと思います。

今まで大変お世話になりました。ありがとうございました。



神谷さん

このたび8月1日付で全酪連仙台支所へ着任致しました神谷昌吾（かみやしょうご）と申します。

全酪連には2018年より入会致しまして、約8年間北海道を担当しておりました。北海道では飼料の提案や牛群管理など、日々現場で多くのことを学ばせて頂きました。この度ご縁があり、福島県を担当させていただきますだけることを大変嬉しく思っています。

私は生まれも育ちも北海道のため、まだ地域のことや牧場ごとの特徴など分からないことも多々ありますが、一軒一軒訪問させて頂きながら、皆様のお話をしっかり伺い、それぞれの牧場にあった提案が出来るよう努めてまいります。現場で困っていることや気になることがありましたら、どんなことでもお気軽にご相談頂ければ幸いです。

一日でも早く皆様のお役に立てるよう、精一杯頑張ってみます。これからどうぞよろしくお願い致します。

ZENOAQ コーナー Vol.260



暑熱の栄養管理

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

年々夏の暑さがきつくなっています。牛さん、生産者の皆さん毎日暑い中、本当にお疲れ様です。

Vol.260のゼノアックコーナーは、暑熱期の栄養管理と題して、様々な方面からの暑熱期の栄養管理をご紹介します。

牛は暑さが苦手な体質です。



左の写真は、暑熱時に牛がよく見せる行動の一つで、『パンディング』を言われるものです。牛は、繊維を消化し、タンパクを作るといふ特殊能力を持つがゆえに、ルーメンという発酵タンクでは多くの熱を作り出します。牛は熱を発散させるためにパンディングなどをしますが、どうしても発散しきれません。人間は牛を管理している以上、少しでも牛の暑熱ストレスを軽減させなければなりません。

夏はルーメンアシドーシスになりやすい。

暑熱期の栄養というと、アシドーシスがまずは思い浮かぶかもしれませんが。牛は以下の理由で夏にアシドーシスになりやすいと言われています。

- 1.呼吸の変化：過呼吸による唾液中の重炭酸イオンの低下
- 2.採食行動の変化：選び食い、一気食い
- 3.代謝の変化：体表に血液が回り、一胃の血流量が減り酸の吸収が減る。Phが下がり乳酸発酵に回る

もともと牛の体内では重炭酸イオン：二酸化炭素が20：1に保たれています。しかし、上で紹介した『パンディング』により吐き出された呼気から二酸化炭素が放出され、血液中の二酸化炭素が減少します。牛は比率を守るために、腎臓から重炭酸イオンを排出します。そのためルーメンでは日常起こっているアシドーシスをバッファーする重炭酸イオンが不足します。また、よだれは暑熱時は非常に多く、下の図のように牛の唾液中には重曹として1L中に10.6gも含まれています。

牛の唾液中のミネラル

Na	126mEq/L
K	6mEq/L
P	26mEq/L
Cl	7mEq/L
HCO ₃	126mEq/L

重曹として10.6g/L入っている

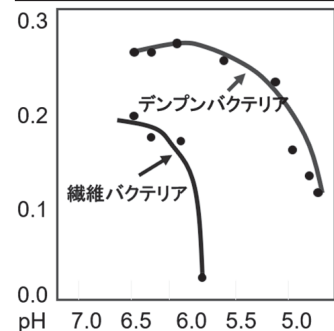
ちなみに唾液は1日100Lから300L出るといわれています。重曹にして1kgから3kgです。唾液のルーメンのバッファー効果は非常に重要となっています。

暑熱期は特に重曹の給与が必要となることが分かります。

ルーメンアシドーシスは著しく消化が悪くなる

牛は牧草などの繊維を消化し、タンパクを作り出せる特殊能力者である理由はルーメン内に膨大な数のバクテリアを飼っているからです。乳脂肪の元となる酢酸を産生する繊維分解バクテリアはPh6.5からアシドーシスの影響を受け始めます。分解するバクテリアが減少することからルーメンアシドーシスになると消化するスピードが落ち、消化が悪くなるといわれています。

ルーメンPhとバクテリアの数

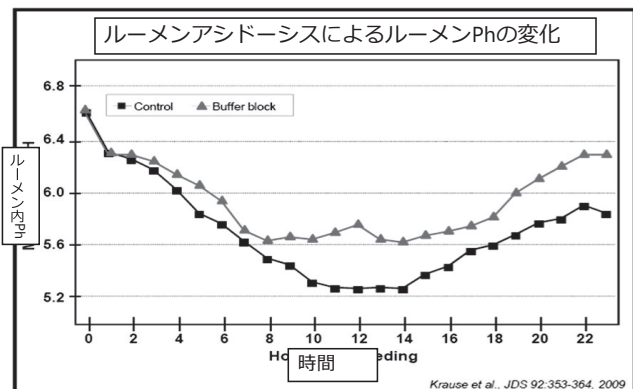


重曹の自由採食はルーメンpHの低下を緩和できる

左の図は、潜在性ルーメンアシドーシスの牛のルーメン内Phの変化を示したものです。研究によると1日のうちで刻々と変化するルーメンPhは重曹の自由接種でその低下を緩和できることが報告されています。重曹などのバッファー剤をうまく使い暑熱対策をしましょう。

今回は暑熱期の栄養と題してアシドーシスの影響と対策について紹介しました。アシドーシスの対策にはアプローチがたくさんあり農場に合った方法があります。

次回も引き続き暑熱期のお話をしたいと思います。



<広告のページ>

ZENOAQ

生体内利用率の高い
ペプチドミネラル配合。

重曹と唾液でルーメン内の恒常性を維持します。

【商品】(500g×4箱) ペプチドミネラル、重曹入り固形塩

アルカリックス®P

【特徴】

1. 食塩と重曹を中心に配合した固形塩です。
2. より吸収性を追求したペプチドミネラルを配合。
3. 重曹プラス低食による唾液の分泌でルーメン内の恒常性を保ちます。
4. 自由採食なので、牛の要求量を手際よく給与できます。
5. 糖みつを配合しており嗜好性に優れています。

ZENOAQ

生体内利用率の高い
ペプチドミネラル配合。

重曹・亜鉛・ビタミンでルーメンや腸の健康を維持します

【商品】(500g×4箱) ペプチドミネラル、重曹、亜鉛入り固形塩

フットバイオ®P

【特徴】

1. 食塩と重曹を中心に、亜鉛とビタミンを添加した固形塩です。
2. より吸収性を追求したペプチドミネラルを配合。
3. 重曹プラス低食による唾液の分泌でルーメン内の恒常性を保ちます。
4. 自由採食なので、牛の要求量を手際よく給与できます。
5. 糖みつを配合しており嗜好性に優れています。

令和8年度6月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、135円87銭5厘で前年より3円80銭8厘上回る単価となりました。

東北生乳販連からの生乳の需給関連の情報をお知らせ致します。まず需給バランスは東北・全国ともに緩和傾向にあるようです。次に、生産動向は前年対比で東北微減、全国横ばいとなっています。最後に、需給のトピックとして、6月に全国的に梅雨入りし需要は伸び悩む一方で、比較的涼しい日が多く昨年のような猛暑にはならず全国的な生産は堅調で、7月に入ってから緩和需給が続いております。

■東北全体プール乳代金 4,605,241千円 単価133.420円
 ■内 福島県分プール乳代金① 498,371千円 単価133.420円
 プール対象外乳代金② 98,983千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 597,354千円 単価137.883円

項 目	令和8年6月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	134円596	130円841	3円755	131円349
補給金単価	0円976	0円943	0円033	0円746
集送乳調整金単価	0円303	0円283	0円020	0円224
合 計	135円875	132円067	3円808	132円319

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体6月)

用 途 別	販売乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	24,598	820.0	96.2	66.3	67.2
加工向け	3,289	110.0	101.4	8.9	8.5
学校給食向け	2,521	84.0	102.4	6.8	6.5
醗酵乳向け	5,949	198.0	97.0	16.1	16.1
生クリーム向け	551	18.0	100.0	1.5	1.4
チーズ向け	131	4.0	99.9	0.4	0.3
合 計	37,038	1,234.0	97.3	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

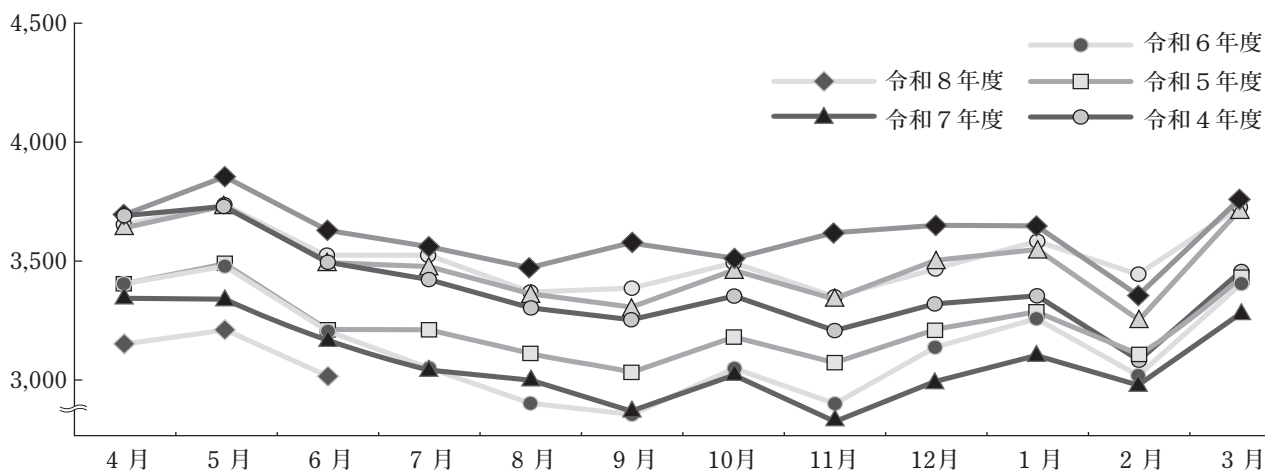
北海道：98.0%、都府県：99.1%

団 体 名	6 月 分		
	受託乳量 (ト)	日 量 (ト)	前年比 (%)
県 酪 協	3,018	100.6	94.9
全農福島県本部	1,316	43.9	97.6
合 計	4,333	144.5	95.7
東北生乳販連	37,038	1,234.6	97.3
全 国	574,415	19,147.2	98.5

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度 \ 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897	3,078	2,990	3,141	3,266	3,034	3,416	37,952
令和7年度	3,359	3,444	3,181	3,046	3,001	2,916	3,033	2,880	2,991	3,110	2,920	3,278	37,159
令和8年度	3,165	3,219	3,018										
前年比%	94.2	93.5	94.9										

単位・トン



令和8年度受託乳量の状況

令和8年6月の受託乳量は、県全体で前年比95.7%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,018ト前年比94.9% (対前年同月163ト減)、全農県本部は1,315トの前年比

97.6% (対前年同月32ト減) の実績でありました。東北生乳販連の受託販売実績については、前年比97.3%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比98.5%となりました。

令和8年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが101.4%、学校給食向けが102.4%、生クリーム向けが100.0%と上回り、飲用向けが96.2%、醗酵乳向けが97.0%、チーズ向けが99.9%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

今年度より、配分検査の検査項目に「浸透圧」が追加されました。「浸透圧」とは生乳に含まれる固形分の濃度によって生じる圧力のとのことです。その氷点を測定することで把握できます。単位はOsmで表示され、276mOsm/kg未満になると、加水が疑われます。加水は搾乳機器やバルクの洗浄後に排水

が出来ていない場合、水が生乳に混入することになります。搾乳システムの自動洗浄後は完全に排水されているか、必ず確認をしてください。

また、生乳検査所からのお願いですが、抗生物質検査のサンプルについて、十分に攪拌してから採取し検査に出してください。上澄み部分は脂肪分が多く粘度があり検査不能になりやすいのでご注意ください。

なお、今月の酪王協同乳業の生乳使用量は日量平均108.1^ト（前年比107.5%）で、県全体生産量の74.8%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和8年度	133.412	133.959	135.875										
令和7年度	128.424	128.905	132.067	131.787	133.331	136.391	135.915	134.375	131.883	132.853	132.997	130.427	132.446
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294	132.236	132.474	128.774	129.667	130.399	127.569	130.564
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和8年6月30日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 17	戸 21	% 81.0	頭 366	頭 117	頭 137	頭 444	頭 414	頭 995	頭 1,478	頭 1,786	% 82.8	頭 86.9
県 中	40	42	95.2	234	127	135	380	514	1,029	1,390	1,452	95.7	34.8
浜	7	6	116.7	339	386	51	98	205	354	1,079	336	321.1	154.1
県 南	26	28	92.9	460	275	196	468	947	1,611	2,346	2,405	97.5	90.2
合 計	90	97	92.8	1,399	905	519	1,390	2,080	3,989	6,293	5,979	105.3	69.9

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和8年 7月	令和8年 8月	令和8年 9月	令和8年 10月	令和8年 11月	令和8年 12月	令和9年 1月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北	頭 79	頭 101	頭 106	頭 98	頭 92	頭 113	頭 109	戸 16	kg 25,161	kg 1,573	kg 29.3	kg 25.3
県 中	77	79	82	88	84	96	136	40	24,409	610	27.3	23.7
浜	52	142	105	55	64	85	32	6	8,589	1,432	28.3	24.3
県 南	123	103	134	117	165	172	125	26	42,539	1,636	30.1	26.4
合 計	331	425	427	358	405	466	402	88	100,698	1,144	29.0	25.2

第369回 県酪協乳牛市場成績

令和 8 年 7 月 9 日開催

購買者数 24名 (うち県外10名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	24 (100)	562,000 353,000	487,000 (97)	103 (94)	4,717 (102)
	雄	35 (100)	697,000 401,000	569,057 (105)	107 (98)	5,306 (106)
乳 牛	メス	1 (100)	34,000 34,000	34,000 (—)	52 (—)	654 (—)
	雄	12 (100)	247,000 50,000	192,833 (92)	72 (80)	2,681 (115)
交 雑 牛	メス	44 (100)	385,000 132,000	310,182 (87)	72 (89)	4,295 (97)
	雄	54 (100)	397,000 250,000	358,241 (90)	77 (92)	4,668 (99)
経 産 牛		6 (100)	448,000 234,000	377,167 (70)		
初 妊 牛		10 (100)	708,000 450,000	549,900 (81)		
搾乳用雌子牛		11 (100)	282,000 193,000	248,364 (118)		

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

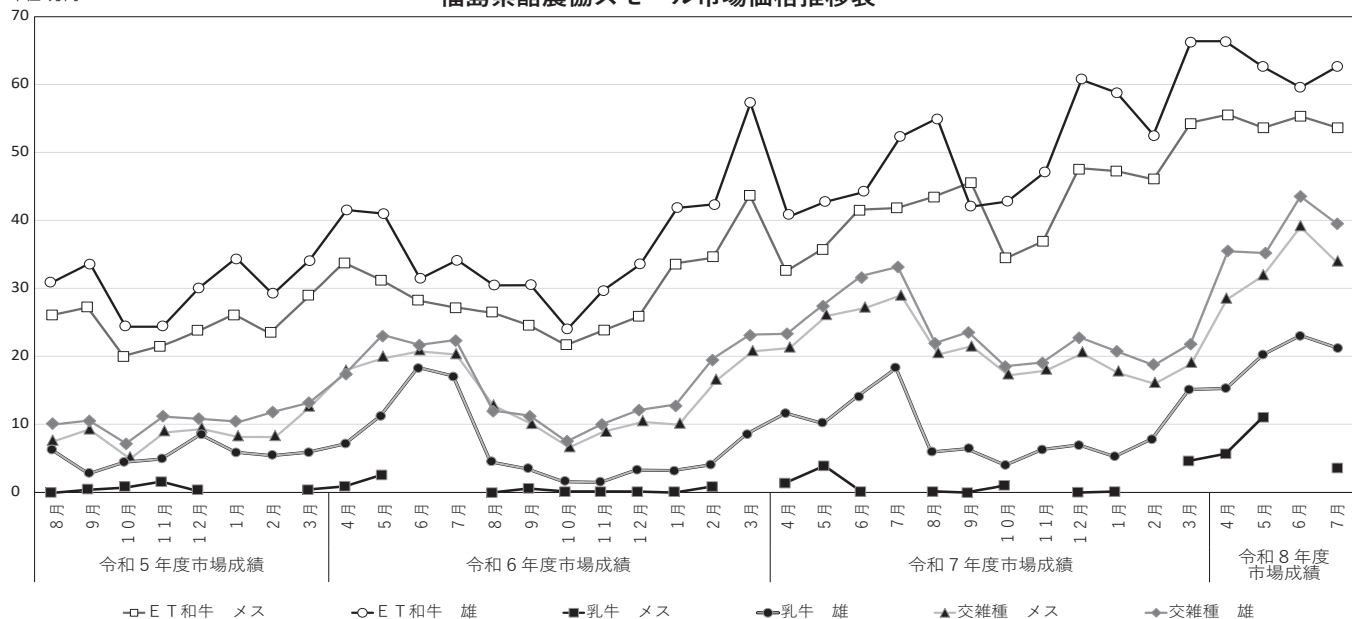
価格帯別分布表

(0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																								
		49<	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73
ET和牛	メス	7	9	1	1	3	1	1	1																	
	雄	7			1	5	3	1	1		4		1	2				1	3	3		3				
乳 牛	メス	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
	雄				1											1		2				2	1	2	2	1
交雑牛		<13	14	15	16	17	18	~	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41
	メス	1		2			1		1	2	1	2			1	6	7	3	10	2	3	1	1			
	雄								1			1			2	1	2	2	2	14	9	10	6	4		
経産牛		<25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
											1					1				2	1					
初妊牛		<45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	~	69	70	71	72	73	74	75
		1		1	1				1		1	1		1	1			1			1					
搾乳用雌子牛		<10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
											1		1		1	2	1	3	1	1						

単位: 万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 7 月

7月1日	辞令交付式	7月22日	県獣医畜産技術総合研究発表会
7月1日	全酪連役員推薦会議	7月22日	県農業団体災害対策本部総会
7月3日	全酪連東北ブロック会議	7月23日	東北生乳販連通常総会
7月6日	東北生乳販連役員推薦会議 (WEB)	7月24日	第4回理事会
7月7日	職員業績発表大会	7月27日	生乳の安全・安心確保のための 福島県協議会
7月9日	乳牛せり市場	7月27日	県家畜人工授精協会総会
7月9～		7月27～	日本ホルスタイン登録協会
10日	全国酪農発表大会 (沖縄県)	28日	東北地区登録委員研修会
7月10日	乳牛改良推進協議会主催牛群検定研修会	7月28日	県農業会議常設審議委員会
7月13日	東北生乳販連理事会	7月28日	FD24会役員会・監査
7月14日	県北地区牛魂慰霊祭	7月29日	全酪連監事会
7月16日	県高付加価値産地協議会総会	7月30日	経営検討会
7月16日	県中支部研修会	7月30日	全酪連理事会・通常総会
7月17日	東北酪専団総会	7月31日	会津支部研修会
7月17日	県酪農青年研究連盟・酪農研究部役員会		
7月21日	JAグループ農畜産物損害賠償協議会総会		

理 事 会

第4回 令和8年7月24日

議 案

報告事項

第1号議案 第十次中期経営3カ年計画推進委員会と
幹事会設置要領(案)並びに委員と幹
事の構成について

(1) 今後の日程について

令和8年度異動等辞令交付

◆退職者(令和8年7月31日付)

氏 名	事 由	所 属
石 橋 良 弘	試用期間満了	組織振興課酪農ヘルパー



中古バルククーラーの斡旋について

今年の4月まで矢吹の全酪連酪農技術研究所にて使用していたバルククーラーを、組合経由にて斡旋いたします。ご所望の方、ご興味のある方がおりましたら、購買畜産課までご連絡ください。皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

○規格

メーカー：オリオン

容 量：1,400 L

電 源：三相200V

コメント：本体自体は古いですが、
基盤は1度交換済み。

○条件等

価 格：11万円（税別、移動設置費別）

荷渡し：置き場渡し

○その他

移動・設置の依頼は可（オリオンへ依頼）

現物の確認可（事前にご連絡ください）

購買での分割対応可

購買畜産課 ☎0243-33-4011



オリオンバルククーラー

型 式	BRS1400H-HE	製造番号	0001002
原乳冷却量	1400 L 日	タンク番号	OR09I14-01113
電 源	三相200V 50/60Hz	消費電力	5.0/6.0 Kw
冷 媒	R404A	運転電流	19.2/20.9 A
冷 媒 量	機械室内コンテナサフトに記載		

オリオン機械株式会社

03Q13805010

酪王協同乳業
からのお知らせ

コラボグッズ 発売！ クリスタルシール3種 第2弾

三春駒クリスタルシール 酪王協同乳業バージョン
酪王協同乳業クリスタルシール Volume.3
酪王協同乳業クリスタルシール Volume.4

●三春駒クリスタルシール 酪王協同乳業バージョン

酪王牛乳・酪王カフェオレ・酪王いちごオレの人気商品パッケージをまとった「ぷかぷか三春駒」が、クリスタルシールになって登場！子宝・安産、子育てのお守りとされる黒駒や、老後安泰・長寿のお守りとされる白駒もデザインに取り入れ、福島の魅力がぎゅっと詰まったデザインに仕上げました。



●酪王協同乳業クリスタルシール Volume.3

酪王いちごオレをはじめ、酪王ももオレ・酪王ももりんごオレ・酪王バナナオレ・酪王フルーツオレなど、歴代の果物系フレーバーをデザインしたクリスタルシールです。思い出の味を振り返りたくなる、懐かしのパッケージデザインを収録しました。



●酪王協同乳業クリスタルシール Volume.4

歴代の酪王カフェオレシリーズのフレーバーをデザインしたクリスタルシールです。酪王やさしいカフェオレをはじめ、酪王クリームボックスオレ、酪王紅茶オレ、酪王ほうじ茶オレ、酪王抹茶オレ、酪王カフェオレ桜など、バラエティ豊かなデザインをお楽しみいただけます。



発売日：2026年8月下旬予定

販売所：アカベコランドオンラインショップ、順次店舗にて販売、
JA タウン酪市酪座内

牛魂碑慰霊祭を執り行いました



県北事務所牛魂碑前において令和8年7月14日(火)牛魂碑慰霊祭が執り行われました。

天気が悪い日が続いており、雨の予報ではありましたが、当日は日差しが差し込む良い天気の中、祭事となりました。今年度をもって牛魂碑慰霊祭の終了が決定しておりますが、昨年同様、春日神社宮司による祝詞奏上に続き、三役、各支部、協力組織代表による玉串奉奠をし、今まで活躍し亡くなった乳牛の御霊への感謝を伝え、閉会となりました。



祭典を執り行った後、場所を会議室に移し昼食をとりながら、厳かな中にも楽しい時を過ごしました。

『特派員 報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思ひます。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : info@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>